

「発災時の被災者の食を支える災害対応準備事業」採択事業情報

(事業実施期間：2025年4月～2028年2月、助成金総額：通常枠 1億円/緊急枠 7500万円)

単位：(円)

	団体名	所在地	対象地域	事業名	事業概要・選定理由	助成額 (カッコ内は「通常枠」に該当する金額)		
						総額	上：直接事業費 下：管理的経費	評価関連経費
1	特定非営利活動法人 セカンドハーベスト・ジャパン https://2hj.org/	東京都台東区	近畿地方、中部地方 (兵庫県、大阪府、愛知県、岐阜県、石川県)	フードバンクの仕組みを活用した 災害時広域食の支援スキーム構築事業	<p>【通常枠】 兵庫・大阪・愛知を中心に、近畿・中部地方のフードバンクや子ども食堂、食品・物流企業と連携し、災害時の食支援スキームを構築。2021年度通常枠（災害支援）での知見を活かし、ガイドブックを改定。研修・DX推進を通じて迅速な支援体制を整備する。</p> <p>【緊急枠】 発生した災害に対し調査を基に支援計画を策定し、食糧供給拠点を設置。豪雨・台風災害にも対応できる体制を連携団体と構築する。行政や地域支援あいセンター等と協力して生活困窮者への食支援を実施する。</p>	60,719,996 (34,447,000)	50,202,196 (28,183,000)	2,763,000 (1,490,000)
選定理由	これまでに実績が豊富な団体であり、ノウハウの移転を意識して計画されていると考える。「支援の行き届きにくい避難所以外の被災者への広域的な食支援スキーム」構築と、事業の焦点も明確である。							
3	特定非営利活動法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ https://musubie.org/	東京都渋谷区	静岡県、三重県、愛知県	子ども食堂を中心とした 災害時の食の提供ネットワーク構築事業	<p>【通常枠】 当団体の強みである子ども食堂のネットワークと防災啓発の経験を活かし、子ども食堂が持つ多世代交流や地域のつながりの機能を基盤に、各地域の状況に応じた行動計画策定・防災啓発・地域内連携の構築の3軸で、地域防災力の強化と災害時の迅速な食支援を目指す。</p> <p>【緊急枠】 能登半島地震の支援経験を活かし、ネットワーク構築と物資・炊き出し支援を実施。出張子ども食堂や相談会で地域食堂立ち上げを支援する。</p>	57,640,000 (32,640,000)	52,850,000 (28,250,000)	2,740,000 (2,640,000)
選定理由	申請団体の子ども食堂ネットワークは、全国的に幅広く、またこれまで団体が行ってきた防災研修、啓発に関わる活動実績のノウハウが広ければ、子ども食堂が持つ防災力を引き出せる可能性が高い。他地域に広げる際の活動も工夫されている。事業内容や指標も具体的で、説明が丁寧になされており、実現可能性も高いと考えられる。							

※助成総額は実行団体の事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。この金額は採択時のもので、追加、精算分は含みません。

※緊急枠については、災害発災後に提出される変更後事業計画書及び資金計画書に基づき助成内容を見直しの上で、助成金が交付される予定です。